

サステナビリティ

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ管掌メッセージ

企業理念であるQOLの向上を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



帝人グループ常務執行役員
サステナビリティ管掌
山西 昇

近年、持続性という言葉が新聞紙面などで見ない日はないと感じています。でも少し違和感を覚えるのは、主語がなく使われている例が多いことです。「何」を持続しなければいけないのでしょうか？ 私なりに考えると、私たちが身を置いているこの「社会」だと思います。では、この社会の持続性とは何が原点になるのでしょうか。

欧州のサステナビリティの原点は1990年代の若年層の失業問題であるそうです。そのまま放置しておけば、ヨーロッパ社会が持続できないということで、政府のみならず、企業を巻き込んでこの失業問題に対処してきたようです。そして、人は一人ひとり社会にとって欠くべからざる資産であって、企業は社会の資産を預かる以上、それに応じた責任を引き受けたわけです。人を教育・訓練し、そして価値を形成してもらう。従って、「社会」の持続性には「人権」というものが必ず根底にあると考えます。

人権以外にもサプライヤーが持続的でないと、私たちの事業は成り立たません。さらにモノ、サービスを提供するにあたり、人に有害であることは許されません。また、その提供物を作り出し、お客様のもとに届けるまでに多くのCO₂を出してしまえば、気候変動の片棒を担ぐこととなります。

このように、社会が持続するためには、多面的な課題の一つひとつ解きほぐしていく、地道な活動が必要です。私たち帝人グループは、会社の理念であるQOLの向上を図るために、日夜この課題に挑戦し続け、社会の持続性に貢献していきます。

サステナビリティ方針とSDGs >

帝人グループは、以下の取り組み方針のもと、人を中心にマテリアリティの解決を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

取り組み方針 >

グローバル・コンパクトへの参加 >

マテリアリティとKPI >

帝人グループの5つのマテリアリティと、重要指標および目標値を紹介します。

帝人グループのマテリアリティ >

KPIと目標 >

マネジメント体制と推進活動 >

帝人グループにとっての機会とリスクを整理し、持続可能な経営基盤を確立してサステナビリティの取り組みを推進しています。

マネジメント体制 >

推進活動 >

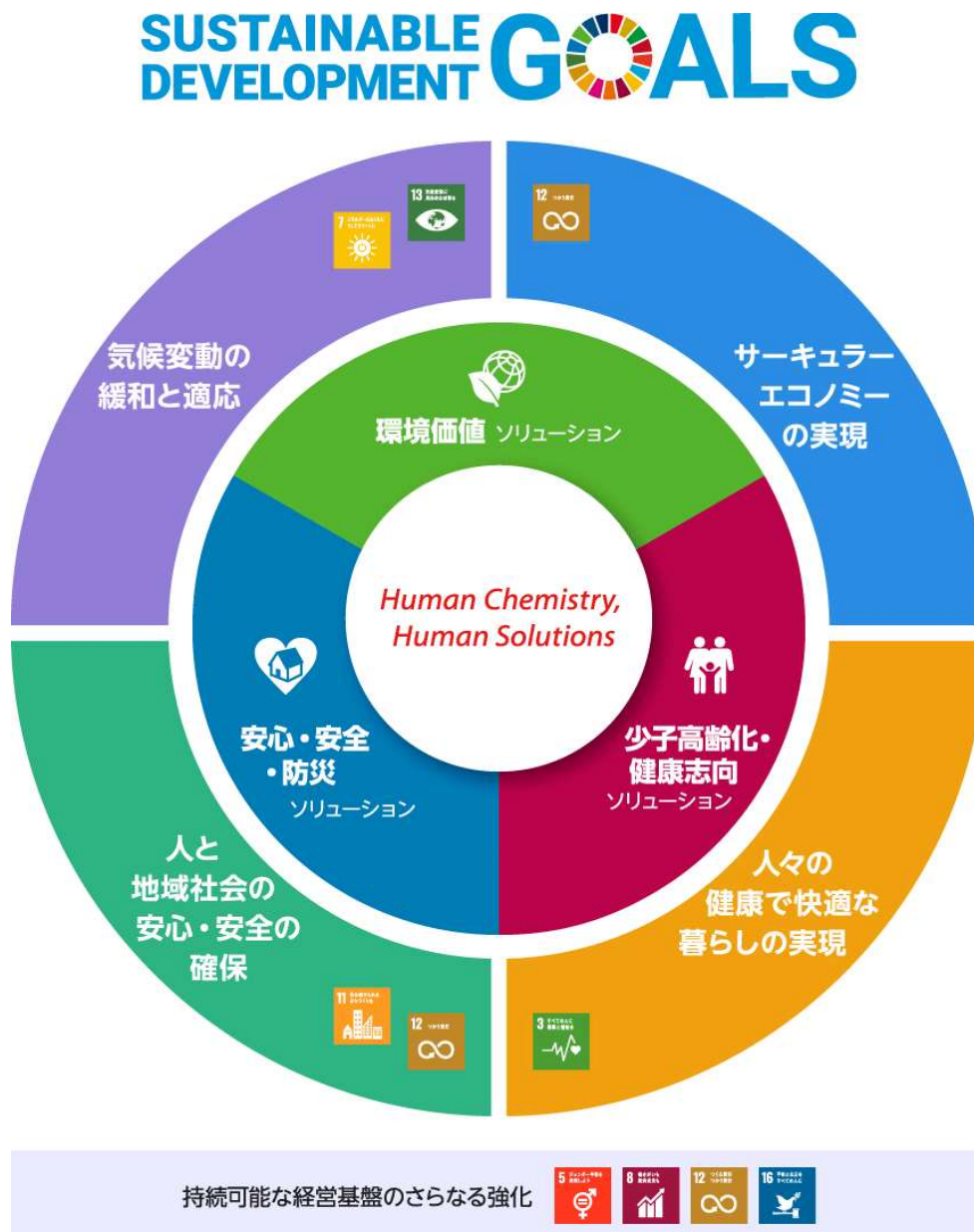
ソリューションと価値創造 >

強みを活かした3つのソリューション提供により、新たな価値を創造し、社会に提供していきます。

サステナビリティ

サステナビリティ方針とSDGs

帝人グループは、以下の取り組み方針のもと、人を中心にマテリアリティの解決を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。



取り組み方針

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、人を中心に考え、クオリティ・オブ・ライフを向上させる革新的なソリューションを提供していくとともに、事業活動に 環境、社会への負の影響が最小限となるよう努力します。

地球に	 環境価値ソリューション 気候変動の緩和と適応やサーキュラーエコノミーの実現など世界的な地球環境目標達成に貢献する製品・サービスを提供
社会に	 安心・安全・防災ソリューション 災害、事故などのさまざまなリスクから生命と暮らしを守る製品・サービスを提供
人に	 少子高齢化・健康志向ソリューション あらゆる年齢の人々の健康的で快適な生活を支える製品・サービスを提供

行動規範

私たち、帝人グループおよびその役員・社員は、すべてのステークホルダーのクオリティ・オブ・ライフの向上を目指し、良心に従って行動します。

行動規範

Together

私たちは、多 性をお互いに尊重し、知 と能力を結集して持続可能な価値を共創します。

人 、宗教、性、文化的背景などの多様性を受け容れ、お互いの人格、個性を尊重します。

異なる意見や 点を歓迎し、誠実な対話を通じて、より良い結論を導きます。

社内外のパートナーシップを積 的に生かし、社会の持続的発展に貢献する製品・サービスを共に創りあげます。また、地域コミュニティとともに発展するため、よき企業市民として適切な社会貢献活動を行います。

Environment, Safety & Health

私たちは、事業活 にあたり、地球環境、安全、健 を最優先します。

研究開発、調達、生産、物 、販売、使用、リサイクル・廃棄にわたるすべての事業活動において、環境の保全および環境負荷の低減に努め、地球環境との共生を図ります。

すべての事業活動において人命を第一とします。安全な労働環境と心身の 康を確保し、顧客には安全で 頼に値する製品・サービスを提供します。

Integrity

私たちは、法令・規則を遵守し、人 および地域コミュニティを尊重して、誠実に行 します。

すべての事業活動およびサプライチェーンにおいて人権を尊重し、差別やハラスメント等 を許容しません。また、説明責任を果たし、地域コミュニティから 頼される事業活動に努めます。

事業を行う国、地域、および多国間の法令・規則を遵守し、また国際的な規範を尊重します。

以下を遵守・尊重・保 します。

- 公正な取引
- 正確な 録作成・報告・保管
- 適時・適切・公平な情報開示
- 知的財産
- 個人情報・機密情報
- 内部通報
- 安全保障輸出管理

以下を許しません。

- カルテル等の反競争的取引
- 賄賂等の腐敗
- インサイダー取引・市場操作
- マネーロンダリング・テロリストへの利益供与

- 反社会的勢力との取引

Joy at Work

私たちは、皆が仕事に情熱を持つことができる、働きがいに満ちた明るい職場をつくりあげます。

お互いに役割と貢献を認め、 頼り助け合うことで、誰もが安心していきいきと働くことができる職場を築きます。

自ら高い目 を持って新たな可能性に果敢に挑戦し、共に働く仲間の成長を積 的にサポートすることで、チームの力を高めます。

私たちの目指す姿や仕事の意義を理解・共有し、仕事を通じて社会に貢献します。

INnovation

私たちは、たゆまぬ変革により、社会やお客 のニーズを先取りした革新的なソリューションの創出に挑戦し続けます。

感性を研ぎ澄まして、未来社会のニーズを先取りし、失敗を恐れず、革新的な製品・サービスの創造に挑戦し続けます。

多様な意見や 点の化学反応を活かし、よりよいアイデアや技術・手法を生み出します。また、既存 念や従来のやり方を打ち破り、自らを変革し続けます。

(2018年4月27日開催の帝人株式会社取締役会にて決)

"行 規範" 私たちの実践ポイント

Together (PDF：574KB) 

Environment, Safety & Health (PDF：654KB) 

Integrity (PDF：951KB) 

Joy at Work (PDF：506KB) 

INnovation (PDF：560KB) 

グローバル・コンパクトへの参加

帝人（株）は、取締役会の決 により、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に2011年3月から参加しています。「国連グローバル・コンパクト」は、各企業が持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに自発的に参加するという取り組みです。参加を表明した企業は、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則を支持し、実践することが求められます。

帝人グループは、グローバル企業として質の高いCSR経営を実践するために、2011年度、「国連グローバル・コンパクト」の原則を踏まえて「企業行動規範」「企業行動基準」を見直し、事業活動において、人権尊重などの基本原則を実践する方針を明確にしました。さらに、社会環境の変化に応じて、「国連SDGs」や「国連グローバル・コンパクト」などへの対応を明確にするため、2018年6月に「企業行動規範」「企業行動基準」を改定し、新たな行動規範の中で「Integrity：私たちは、法令規則を遵守し、人権および地域コミュニティを尊重して、誠実に行動します」を定めました。また、2019年3月に帝人グループ人権方針を制定し、人権の尊重は企業として果たすべき重要な社会的責任であるとの認 のもと、事業活動の全てにおいて、あらゆる人権侵害に直接的に関与しないだけでなく、社外の関係者を通して間接的にも加担しないよう努めることを宣言しました。

* 国連グローバル・コンパクト：1999年1月、世界経済フォーラム（ダボス会 ）の席上で、コフィー・アナン国連事務総長（当時）が提唱した企業の自主行動原則。

国連グローバル・コンパクトの10原則

人

原則1 企業は、国際的に宣言されている人権の保 を支持、尊重すべきである

原則2 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

労働

原則3 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである

原則4 企業は、あらゆる形態の強制労働の 廃を支持すべきである

原則5 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである

原則6 企業は、雇用と職業における差別の 廃を支持すべきである

環境

原則7 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである

原則8 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである

原則9 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである

腐敗防止

原則10 企業は、強要や 収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである



This is our **Communication on Progress** in implementing the Ten Principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.

マネジメント体制と推進活動

帝人グループにとっての機会とリスクを整理し、持続可能な経営基盤を確立してサステナビリティの取り組みを推進しています。

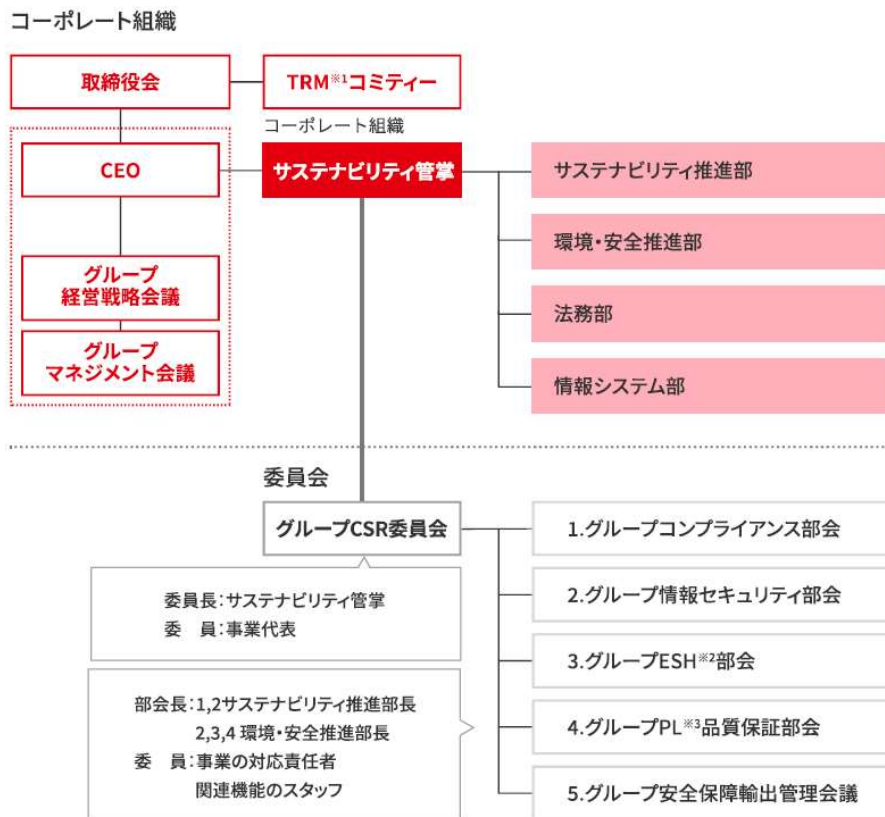
マネジメント体制

帝人グループは、気候変動などの地球環境問題への配慮、人権の尊重、従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇、取引先との公正・適正な取引、自然災害等への危機管理など、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題を経営課題と認識しています。

当社では、サステナビリティに関する活動の責任者としてサステナビリティ管掌を定め*、取締役会の指示・監督のもと、事業と一体化したサステナビリティの取り組みを推進しています。

* ダイバーシティ&インクルージョンについては、人事・総務管掌が統括・推進

サステナビリティに関する方針や画及び進捗は経営会で審議・報告され、年1回サステナビリティ管掌によるレビューにより、各事業本部及びグループ会社の重要課題を確認しています。重要な業務運営リスクは、年2回、TRMコミティーで基本画を審議し、進捗の報告を受けて、審議・報告内容を取締役に報告しています。また、年1回、サステナビリティ管掌が取締役会で機能執行報告を行い、取締役会の指示・監督のもとサステナビリティに関する活動に取り組んでいます。



※1 トータル・リスクマネジメント

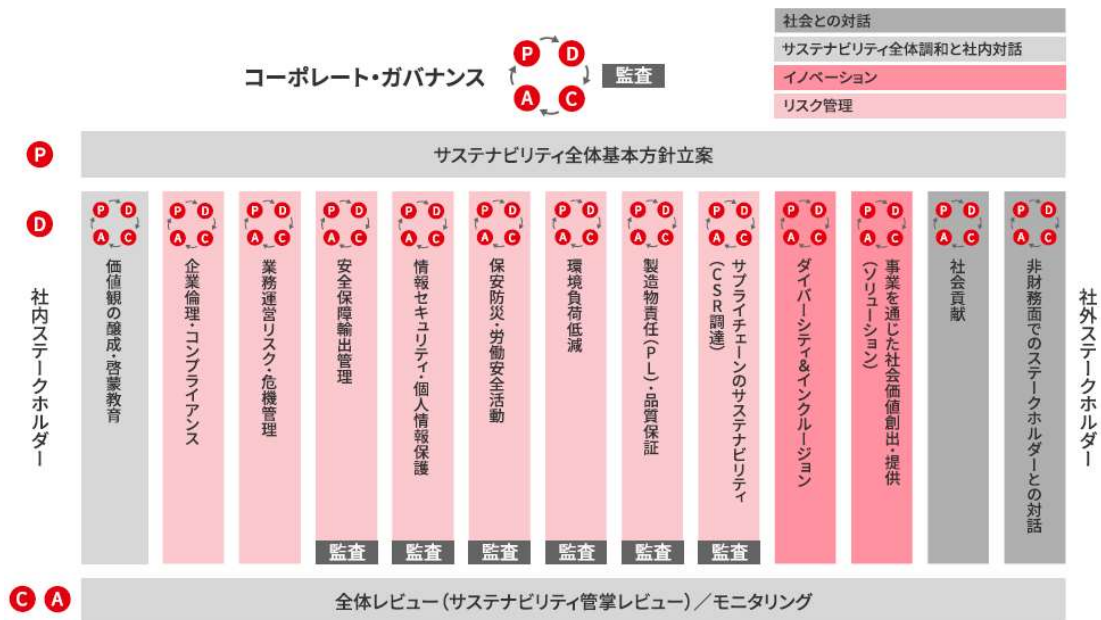
※2 Environment (環境保全)、Safety (安全・防災)、Health (健康)

※3 Product Liability (製造物責任)

推進活動

持続可能な社会の実現に向け、帝人グループにとっての機会とリスクを整理し、持続可能な経営基盤を確立してサステナビリティの取り組みを推進しています。サステナビリティの取り組みをグループ全体で統合的、効率的に進めるため、サステナビリティ管掌の下、重要なサステナビリティに関する課題ごとに主管部署・担当組を定め、中長期および単年度の計画（Plan）を立てることで、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルを回し、継続的な改善・向上を図っています。

サステナビリティ取り組みのPDCA



サステナビリティ管掌レビューの実施

帝人グループにおけるサステナビリティの取り組みについて、年1回、サステナビリティ管掌によるレビューを実施し、各事業およびグループ会社のサステナビリティに関する重要課題への対応状況とともに、重大な法令違反および事件・事故の有無を確認しています。

外部からの評価

SRIインデックスへの組み入れ状況（2023年8月現在）

帝人グループは、これまでのESGへの取り組みと、情報開示における透明性を評価され、代表的なSRI指である下のインデックスに継続して組み込まれています。

SRI（社会的責任投資）インデックスへの組み入れ

- 「Dow Jones Sustainability Indices」
- 「FTSE4Good Index Series」
- 「Ethibel Investment Register」

当社は、ESG投資に関する世界的な調査・評価会社であるS&Pグローバル（米国）が全世界を対象としてサステナビリティにおいて優れた企業を選定する「Global Sustainability Yearbook 2023」に掲載されています。



GPIFの5つのESG指数すべての構成銘柄に採用

- 「MSCIジャパン ESGセレクト・リーダース指数」
- 「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」
- 「FTSE Blossom Japan Index」
- 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」
- 「S&P/JPXカーボンエフィシエント指数」

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダース指数

2023 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



注 MSCIインデックスへの帝人株式会社を組み入れおよび帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

MSCI ESG格付 価において最上位の「AAA」を獲得

- MSCI ESG 「AAA」



ESGへの取り組みが優れている企業として、3つのプログラムに選定

- 「健康経営優良法人」
- 「Work with Pride」
- 「D&Iアワード」

2021年度に続いて2022年度も「Work with Pride」では「GOLD」を、「D&Iアワード2022」では最高評価の「ベストワークプレイス」が認定されました。



マテリアリティとKPI

帝人グループの5つのマテリアリティと、重要指標および目標値を紹介します。

帝人グループのマテリアリティ

マテリアリティは、長期ビジョン「未来の社会を支える会社」を実現するために帝人グループが優先的に取り組む重要な社会課題です。「中期経営 画2020-2022」では、世界的な社会課題とSDGsが掲げるゴールを踏まえ、自社にとってのリスクと機会を整理し、2020年度以降の経営課題として取り組む5つのマテリアリティを特定しました。2022年度に公表した「帝人グループ収益性改善に向けた改革」においても、取り組むべき重要課題は変更せず、ポストパンデミック社会において、重要課題を解決する企業への変革を加速することを目指します。

マテリアリティ	主な取り組み	関連SDGs
気候変動の緩和と適応	環境価値ソリューション（軽量化等気候変動の緩和） 安心・安全・防災ソリューション（気候変動への適応）	 
	事業活動に伴う温室効果ガス排出削減	
サーキュラーエコノミーの実現	環境価値ソリューション（リサイクル等）	
	資源有効活用・廃棄物削減	
人と地域社会の安心・安全の確保	安心・安全・防災ソリューション	 
	環境汚染防止・化学物質管理	
人々の健康で快適な暮らしの実現	少子高齢化・健康志向ソリューション	
	従業員の健康・満足度向上	
持続可能な経営基盤の更なる強化	コーポレート・ガバナンス	   
	企業倫理・コンプライアンス	
	ダイバーシティ&インクルージョン	
	情報セキュリティ・個人情報保護	
	保安防災・労働安全活動	
	健康経営	
	製造物責任(PL)・品質保証	
	サプライチェーンのサステナビリティ（CSR調達）	

マテリアリティの 細情報はこちら

- 気候変動の 和と適応 >
- サーキュラーエコノミーの実現 >
- 人と地域社会の安心・安全の確保 >
- 人々の 康で快適な暮らしの実現 >
- 持続可能な経営基盤のさらなる強化 >

マテリアリティ特定プロセス

帝人グループは、社会課題を幅広く把握・整理し、帝人グループにおける重要度とステークホルダーへの影響度の観点から重要課題の分析・抽出を行い、サステナビリティ管掌が外部有識者と対話した上、最終的には経営会で帝人グループのマテリアリティを特定しています。

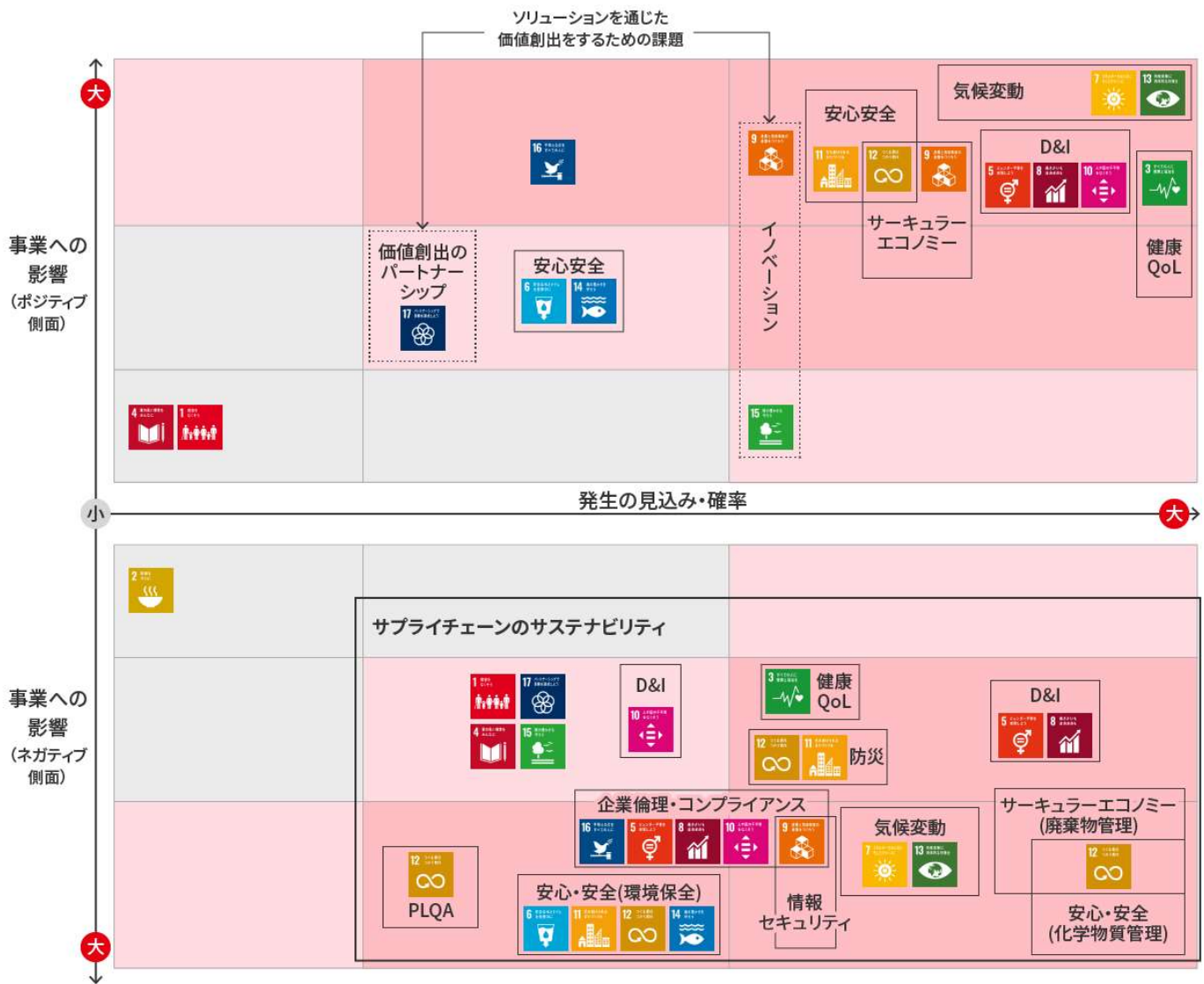


STEP1 課題把握・整理

SDGsを始めとする社会における課題のトレンドを広く把握・整理

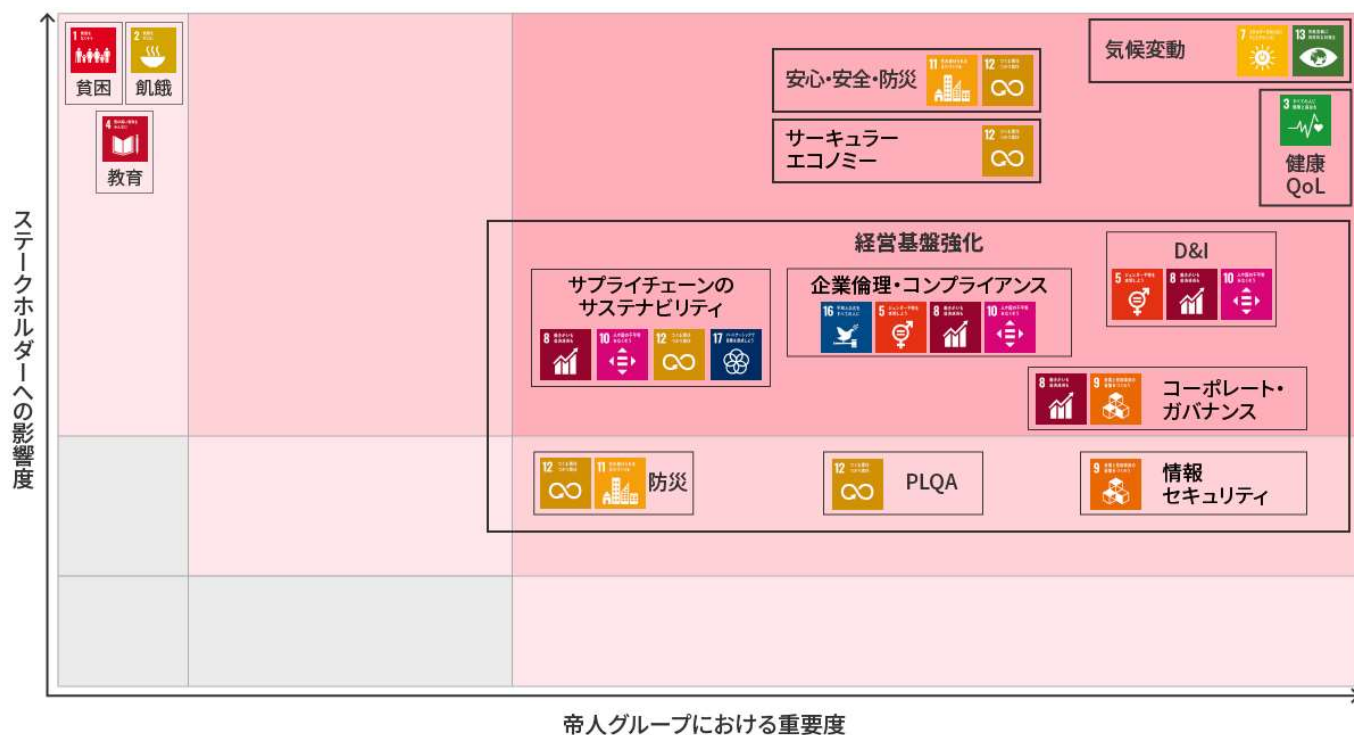
STEP2 重要度判定

事業への影響度（ポジティブ側面・ネガティブ側面の双方を考慮）と、発生の見込み・確率の両面から、帝人グループにおける重要度を判定。



STEP3 重要課題抽出

STEP2で分析した課題群から、帝人グループにおける重要度とステークホルダーへの影響度が特に高い課題を重要課題として抽出。



STEP4 外部有 者とのダイアログ

帝人グループのマテリアリティの特定プロセスと抽出課題について、外部有 者と対話を実施。

実施内容

マテリアリティの特定プロセスと抽出課題についてのダイアログを2019年10月に実施し、外部有 者に幅広い見地からご意見をいただきました。

事業領域とソリューションの連 が企業価値を高める



富田 秀実氏
ロイドレジスタージャパン株式会社 取締役 事業開発部門長
(2019年10月当時)

SDGsを にマテリアリティを整理するにあたり、それぞれの事業活動の結果として3つのソリューションがあり、それがどう社会に貢献するのかを見せられると、ストーリー性が高まると考えます。また、ひとつの素材や事業を、複数のソリューションにオーバーラップさせることで、より広い範囲で企業価値を高めることができるのではないのでしょうか。SDGsに対応することでどんなビジネスチャンスが生まれるのか、社員一人ひとりが理解することも重要だと考えます。

次の100年に向けて、未来からのバックキャストが重要



洪 健氏
コモンズ投信株式会社 取締役会長
(2019年10月当時)

長期投資家の立場から見ると、企業がESGやSDGsに取り組む意味は、長期的・持続的な価値創造のためであるといえます。既存事業の積み重ねと未来に対するコミットメントからの逆算が重要です。「何をすべきか」だけでなく、「なぜそうするか」を考え、次の100年を描いた上でバックキャストも進めてほしいと思います。事業環境の変化を捉え、これまでの成功体験の外にどれだけセンサーを張れるかも今後ますます重要になるでしょう。

気候変 に対する長期的な価値創造を期待



後 敏彦氏
グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンボードメンバー
NPO法人サステナビリティ日本フォーラム代表理事
(2019年10月当時)

TCFDへの支持表明は短期的 点でも評価できます。一方、ビジョンや戦略の策定においてはより長期の 点を持ち、創業150年後のありたい姿からバックキャストする形で2030年の目 を定めると良いでしょう。企業トップが方向性を示すことで、CO₂などを削減するためにどうすべきか、社員からもさまざまなアイデアが出ると思います。企業として生き残っていくためには、気候変動に対しても価値創造の観点から考え、取り組むことが重要です。

過去に開催した主なダイアログ

- 人権に関する外部有 者とのダイアログ（2021年度）（PDF：181KB） 
- 人権に関する外部有 者とのダイアログ（2020年度）（PDF：201KB） 
- 人権に関する外部有 者とのダイアログ（2019年度）（PDF：713KB） 
- コーポレート・ガバナンス対談（2018年度）（PDF：868KB） 
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進（2017年度）（PDF：776KB） 
- マテリアリティの取り組み（2016年度）（PDF：498KB） 
- CSR調達（2015年度）（PDF：561KB） 
- マテリアリティの特定（2014年度）（PDF：556KB） 
- 女性活躍のその先へ 真のダイバーシティとは（2013年度）（PDF：4.58MB） 
- 「アラミド 維のグローバルリーダー」としての責任とは（2012年度）（PDF：12.17MB） 
- 災害時のCSRを考える（2011年度）（PDF：5.05MB） 
- 中国での環境取り組みはどうあるべきか（2010年度）（PDF：3.11MB） 
- よりよい在宅酸素療法をめざして（2009年度）（PDF：2.6MB） 
- 「エコサークル®」のさらなる拡大をめざして（2008年度）（PDF：3.15MB） 
- 環境配慮設 ガイドラインの運用（2007年度）（PDF：2.2MB） 
- 「エコサークル®」の推進（2006年度）（PDF：3.08MB） 

STEP5 マテリアリティの特定

経営会 において審 査・確認し、「帝人グループのマテリアリティ」を特定。
2019年12月の経営会 において、現在の5つのマテリアリティを特定しました。

KPIと目 標

帝人グループが設定したKPIと目 標は以下の通りです。

環境負荷低減

環境負荷低減については、「中期経営 計画2020-2022」で設定したKPIを継続（一部数値を引き上げ）しています。

		中期経営計画 2020-2022	最新目標
気候変動 (CO ₂ 排出量)	自社排出 ^{*1} (Scope1+2)	2030 年度 30% 削減	(変更なし)
		2050 年度 実質ゼロ実現	(変更なし)
	サプライチェーン ^{*2} (Scope3)	2030 年度 15% 削減	(変更なし)
水	(淡水取水量 ^{*3} 売上高原単位 ^{*4})	2030 年度 30% 改善	(変更なし)
有害物質	(有害化学物質排出量 ^{*5} 売上高原単位 ^{*4})	2030 年度 20% 改善	(変更なし)
資源循環	(埋立廃棄物量 ^{*6} 売上高原単位 ^{*4})	2030 年度 10% 改善	20% 改善

2030 年度までに 削減貢献 ^{*7} > 総排出 ^{*8} 達成



^{*1} CO₂以外に、メタン、一酸化二窒素を含む。CO₂ 排出量は、GHGプロトコルを参考に算定し、他社に販売したエネルギー量に相当するCO₂ 排出量は控除していない。また、化学反応バランスに基づき算定した炭素 維生産時の非エネルギー起源CO₂ 排出量を集 対象に含む。燃料の 出係数は地球温暖化対策推進法に基づく係数を使用。電力の 出係数は、国内は電力会社別の調整後 出係数、海外は原則電力会社固有の係数を使用しているが、電力会社固有の係数を把 できない場合、国際エネルギー機関(IEA)公表の最新年の国別 出係数を適用

^{*2} スコープ3 出量のうち、カテゴリ1（ 入した製品・サービス）を対象。ただし、 維・製品事業にて販売目的で 入した商品に関するカテゴリ1の 出量は除く

^{*3} 淡水取水量は、工業用水、地下水、上水道の合

^{*4} 売上高原単位を算定する際には、連結売上高を分母に適用して算定

^{*5} 化管法第一 指定化学物質および一般社団法人日本化学工業協会指定化学物質のうち、国際連合が定めるGHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)分類における水性環境有害性またはオゾン層への有害性を有する化学物質を対象として、大気、水域、土壌への 出量を集

^{*6} 埋立廃棄物量は、直接埋立処分する廃棄物の量を対象に集

^{*7} 当社製品によるサプライチェーン川下でのCO₂削減効果を算出したもの

^{*8} CO₂総 出量は、スコープ1、スコープ2および、スコープ3のうちカテゴリ(C)1（ 入した製品・サービス）、C2（資本財）、C3（スコープ1,2に含まれない燃料およびエネルギー活動）、C4（輸送、配送（上 ））、C5（事業から出る廃棄物）、C6（出張）およびC7（雇用者の通勤）を対象に算出

人的資本（人財の多 様性を含む）

2023年度、経営体制の見直しにおける執行役員数低減に合わせ、長期目 標を再設定しています。

①「中期経営 計画2020-2022」におけるKPIと目 標

KPI			目標	
役員 ^{*1} ダイバーシティ	女性役員数		2031年4月1日	10人以上
	非日本人役員数		2031年4月1日	12人以上
女性活躍 重点目標 ^{*2}	日本 ^{*3}	管理職数	2031年4月1日	300人以上
	米国	上級管理職数 ^{*4}	2031年4月1日	10人
	欧州	グローバルコア人材数 ^{*5}	2031年4月1日	10人
	中国	上級管理職数 ^{*4}	2031年4月1日	12人
	ASEAN	上級管理職数 ^{*4}	2031年4月1日	8人以上

*1 取締役、監査役、グループ執行役員・理事

*2 地域別の課題に応じて設定

*3 国内グループ主要4社：帝人（株）、帝人ファーマ（株）、帝人フロンティア（株）、インフォコム（株）

*4 グループ会社社長を含む上級管理職

*5 すでに相当数存在する管理職からグループ執行役員候補として選抜・認定された人材

② 2023年度以降のKPIと目

	マイルストーン 2026年4月	目標 2031年4月
女性役員	20%	30%
非日本人役員	10%	30%
従業員満足度	毎年1%改善（参考：2022年度実績64%）	

ソリューションと価値創造

強みを活かした3つのソリューション提供により、新たな価値を創造し、社会に提供していきます。

ソリューションと価値創造

帝人グループには「変革と挑戦」のDNAが受け継がれています。100年という歴史において、その時代時代の課題解決に挑み、数々のソリューションを提供してきた私たちの現在の目 は、持続可能な社会の実現に貢献すること。そのために、「環境価値ソリューション」「安心・安全・防災ソリューション」「少子高齢化・ 康志向ソリューション」の3つのフィールドで、社会が必要とする新たな価値の創造に挑んでいきます。また、そのための土台となる経営基盤のさらなる強化と、リスクへの適確な対応にも一層注力していきます。

価値創造 念図



課題解決に貢献する提供価値

ソリューション	提供価値	製品・サービス例	
 環境価値ソリューション	製品の長寿命化、3Rの促進で、サーキュラーエコノミーの構築に貢献 ■高耐久・高品質素材による製品の長寿命化、シェアリング (Reduce、Reuse) の促進 ■リサイクル技術の開発・提供を通じたパートナーシップによるバリューチェーン全体での資源循環性 (Recycle) の向上	●高性能タイヤ補強材 ●リサイクル素材	→ サーキュラーエコノミーの実現
	エネルギーの効率化・クリーン化で、気候変動の緩和に貢献 ■高機能素材・部材によるモビリティの軽量化・電動化 ■水素社会インフラに不可欠な製品による社会の脱炭素化	●軽量化素材・部材 ●バッテリーセパレータ ●水素パイプライン ●水素タンク	→ 気候変動の緩和と適応
	クリーン技術で、地球環境汚染の防止・浄化に貢献 ■ナノレベルの微細技術を活用したフィルタリングなどによる大気・水域への汚染物質、マイクロプラスチックなどの流出防止と浄化	●アスベスト代替素材 ●バグフィルター ●環境エンジニアリング	→ 気候変動の緩和と適応
 安心・安全・防災ソリューション	高機能素材やIoTの活用で、安全性・強靱性を備えた社会の構築に貢献 ■高耐久素材とIoTの活用による自然災害被害の軽減・迅速な復旧 ■高耐熱・高耐久素材とIoT活用による火災、交通事故、犯罪などからの人体・生命の防護	●高機能繊維補強材料 ●雨水貯蔵ブロック ●安否確認サービス ●防護衣料 ●シートセンサーメンブレン	→ 人と地域社会の安心・安全の確保
	せんいの方で、より快適な暮らしの実現に貢献 ■革新的な技術開発による「快適な衣類」「快適な住空間」「快適な移動」の具現化	●機能性インテリア製品 ●高付加価値衣料製品 ●カーシート地 ●電車シート ●自動車用吸音材	→ 人と地域社会の安心・安全の確保
 少子高齢化・健康志向ソリューション	医療・健康サポートを通じて、人々の健康維持・健康寿命の延伸に貢献 ■画期的な医薬品・医療機器による治療水準向上と患者生活支援 ■ICT活用による医療従事者支援と地域連携支援 ■機能性食品や睡眠サポートによる健康水準向上	●医薬品 ●在宅医療機器 ●機能性食品 ●地域医療連携システム ●病院向けシステム	→ 人々の健康で快適な暮らしの実現

「3つのソリューション」売上高

2030年度グループ目標

3つのソリューション全社売上高比率を75%以上

「3つのソリューション」売上高統計データ

